

# 情報誌

<発行元>  
NTT通信ソフトウェア本部  
関西フィールドサービスセンタ  
サービス企画担当

TEL 06-632-9705

## 新年にあたって!

明けましておめでとうございます。

いわゆる“トリ年”にちなんで、羽ばたくとか元気よとかのイメージの年と言われますが、正にそう願いたいものです。

会社としては、NCCとの競争、収支状況等益々厳しい状況に至っております。その中で、私達FSCの業務については、ソフトの内製化も逐次拡大し、地域への保守支援も活発に推進できています。

いつも言われている事ですが、自らの手でソフトを作り自ら技術を高めることにより、今日の技術集団としての信頼と実力を培って来たと言えます。これからの保守体制の動向を考えて見ると、私達の責務は益々大きくなるものと思われま

す。交換機のソフト作りは大きなプロジェクトで、個々の作業ベースでは部分しか見えないことが多いが、この緻密な作業が積重なって初めて大きな力を示すものです。

しっかりした技術に裏打ちされた個人個人の力が有ればこそ、ソフトの信頼性・支援の確かさを約束するものです。

交換機をメンテ出来る、ソフトを作れる、何か問題が発生しても何とか対処出来るようになった。しかし、社内ではともかく、まだまだ世間が認めてくれるには程遠い状況です。今後はこの力を更に高めて、社内のプロから社会のプロへと飛躍したいものです

「力を高める」と言うのは、がむしゃらに仕事を、或いは作業イメージで走りまわれば良い訳ではなく、「自分で考える」事により、初めて色んな、本当の「力」がつかます。

何故こうするか、どうすればよいかetc、例えばソフトの機能や効果も1ステップ毎に検証していく等の姿勢が大切です。常に疑問を抱くことから苦勞して力が着



きます。そのためにも、何が分かって何が分からないかを区別できる目、感覚、知識が大切なのです。不明確、不安なことをクリアにして、初めて仕事の工夫や改善ができるものです。

これは、正しくASKの考え方になります。私達が通信設備の作り方、運営の在りかたに係わるものとして、ソフトウェアを通じて社会に貢献できるよう、PDCAを回すことにより、効率のよい業務の展開を計りたいものです。

新年に当たり、自戒の意を含め感じたことを述べました。今年はFSCとしてまた一段と活躍の場を広げたいと思います。皆さん個人個人のスキルアップこそがFSCの飛躍へとつながります。御家族の皆様ともども全力を尽くして、楽しい健康な一年となるよう頑張りましょう。

1993. 1

関西フィールドサービスセンタ

サービス企画担当部長 中島 章雄



も  
く  
じ

新年にあたって 関西FSC サービス企画担当部長

関西FSC紹介 サービス営業・技術担当(N02)、ノード第一プロジェクトグループ(N02)

トピックス ①改良D70紹介 ②クロスワードパズルでラッキーチャンス!

③関西FSC情報誌 4年度総目次